

平成29年度 広島大学 2次試験前期日程(数学問題)120分  
 教育(第一類・第二類(技術・情報系)・第四類(人間生活系))・  
 経済(昼)・歯(口腔健康科学(口腔保健))

問題 1 2 3 4

1 座標平面上の2点  $A(\sin \theta, \sin^2 \theta)$ ,  $B(\cos \theta, \cos^2 \theta)$  を考え,  $A, B$  間の距離を  $L$  とする. ただし,  $\theta$  は条件

$$(*) \quad 0 \leq \theta < 2\pi \quad \text{かつ} \quad \sin \theta - \cos \theta - 1 > 0$$

を満たすとする. 次の問いに答えよ.

- (1)  $(*)$  を満たす  $\theta$  の範囲を求めよ.
- (2)  $t = \sin \theta \cos \theta$  とおくとき,  $t$  のとり得る値の範囲を求めよ.
- (3)  $L$  を (2) の  $t$  を用いて表せ.
- (4)  $L$  の最大値, 最小値を求めよ. また, そのときの  $\theta$  の値を求めよ.

2 座標平面上の3点

$$O(0, 0), \quad A(3, 0), \quad B(1, 2)$$

を考える.  $C$  を線分  $OA$  上にあり,  $\angle OBC = 45^\circ$  を満たす点とする. また,  $P$  を  $x$  座標が  $t$  である直線  $OA$  上の点とする. 点  $Q, R, P'$  を次により定める.

- (a) 点  $P$  を通り傾きが1の直線と, 直線  $AB$  の交点を  $Q$  とする.
- (b) 点  $Q$  を通り直線  $OB$  に垂直な直線と, 直線  $OB$  の交点を  $R$  とする.
- (c) 点  $R$  を通り直線  $BC$  と同じ傾きをもつ直線と, 直線  $OA$  の交点を  $P'$  とする.

次の問いに答えよ.

- (1) 点  $Q$  の座標を  $t$  を用いて表せ.
- (2) 点  $R$  の座標を  $t$  を用いて表せ.
- (3) 点  $P'$  の座標を  $t$  を用いて表せ.
- (4) 点  $P'$  の  $x$  座標を  $f(t)$  とする. 数列  $\{t_n\}$  を

$$t_1 = 2, \quad t_{n+1} = f(t_n) \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

により定める. 数列  $\{t_n\}$  の一般項を求めよ.

**3**  $n$  を 2 以上の整数とする.  $n$  個のさいころを投げ, 出た目のすべての積を  $X$  とする. 次の問いに答えよ.

- (1)  $X$  が 5 の倍数である確率を  $n$  を用いて表せ.
- (2)  $X$  が 5 の倍数である確率が 0.99 より大きくなる最小の  $n$  を求めよ. ただし,  $\log_2 3 = 1.585$ ,  $\log_2 5 = 2.322$  とする.
- (3)  $X$  が 3 でも 5 でも割り切れない確率を  $n$  を用いて表せ.
- (4)  $X$  が 15 の倍数である確率を  $n$  を用いて表せ.

**4** 座標平面上の二つの曲線

$$C_1 : y = 4x^3 - 1, \quad C_2 : y = x^3$$

を考える.  $a > 0$  に対して,  $x$  座標が  $a$  である  $C_1$  上の点を  $A$  とし,  $A$  における  $C_1$  の接線を  $l$  とする. 次の問いに答えよ.

- (1)  $C_1$  と  $C_2$  の交点の  $x$  座標を  $p$  とする.  $p$  の値を求めよ.
- (2) 直線  $l$  の方程式を,  $a$  を用いて表せ.
- (3) 直線  $l$  が  $C_2$  に接するとき,  $a$  の値を求めよ.
- (4) (3) のとき, 直線  $l$  と  $C_2$  の接点を  $B$  とする.  $C_1$ ,  $C_2$  と線分  $AB$  で囲まれた図形の面積を求めよ.

## 解答例

**1** (1)  $\sin \theta - \cos \theta - 1 > 0$  より

$$\sqrt{2} \sin \left( \theta - \frac{\pi}{4} \right) - 1 > 0 \quad \text{ゆえに} \quad \sin \left( \theta - \frac{\pi}{4} \right) > \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$0 \leq \theta < 2\pi$  より,  $-\frac{\pi}{4} < \theta - \frac{\pi}{4} < \frac{7}{4}\pi$  であるから

$$\frac{\pi}{4} < \theta - \frac{\pi}{4} < \frac{3}{4}\pi \quad \text{よって} \quad \frac{\pi}{2} < \theta < \pi$$

(2)  $t = \sin \theta \cos \theta = \frac{1}{2} \sin 2\theta \quad \dots (*)$

(1) の結果から,  $\pi < 2\theta < 2\pi$  であるから  $-\frac{1}{2} \leq t < 0$

(3) A( $\sin \theta, \sin^2 \theta$ ), B( $\cos \theta, \cos^2 \theta$ ) より

$$\begin{aligned} L^2 &= (\sin \theta - \cos \theta)^2 + (\sin^2 \theta - \cos^2 \theta)^2 \\ &= (\sin \theta - \cos \theta)^2 \{1 + (\sin \theta + \cos \theta)^2\} \\ &= (1 - 2 \sin \theta \cos \theta)(2 + 2 \sin \theta \cos \theta) \\ &= (1 - 2t)(2 + 2t) = 2(1 + t)(1 - 2t) \end{aligned}$$

よって  $L = \sqrt{2(1+t)(1-2t)}$

(4) (3) の結果から  $L^2 = -4t^2 - 2t + 2 = -4 \left( t + \frac{1}{4} \right)^2 + \frac{9}{4}$

上式および (\*) より  $L$  は

$$t = -\frac{1}{4}, \quad \text{すなわち, } \theta = \frac{7}{12}\pi, \frac{11}{12}\pi \text{ のとき最大値 } \sqrt{\frac{9}{4}} = \frac{3}{2}$$

$$t = -\frac{1}{2}, \quad \text{すなわち, } \theta = \frac{3}{4}\pi \text{ のとき最小値 } \sqrt{2}$$



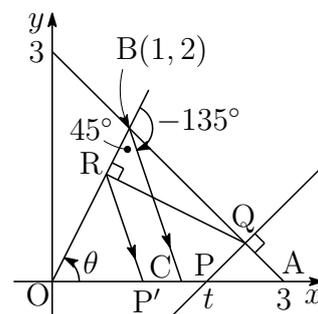
- 2 (1) 点  $P(t, 0)$  を通り、傾きが 1 の直線は

$$y = x - t$$

2 点  $A(3, 0)$ ,  $B(1, 2)$  を通る直線は

$$y = -x + 3$$

この 2 直線の交点  $Q$  は  $\left(\frac{3+t}{2}, \frac{3-t}{2}\right)$



- (2) 点  $Q\left(\frac{3+t}{2}, \frac{3-t}{2}\right)$  を通り、直線  $OB$  に垂直な直線は

$$y - \frac{3-t}{2} = -\frac{1}{2}\left(x - \frac{3+t}{2}\right) \quad \text{ゆえに} \quad y = -\frac{1}{2}x + \frac{9-t}{4}$$

これと直線  $OB: y = 2x$  との交点  $R$  は  $\left(\frac{9-t}{10}, \frac{9-t}{5}\right)$

- (3) 直線  $OB$  と  $x$  軸の正の向きとなす角を  $\theta$  とすると  $\tan \theta = 2$

直線  $BC$  の傾きは  $\tan(\theta - 135^\circ) = \frac{\tan \theta - \tan 135^\circ}{1 + \tan \theta \tan 135^\circ} = \frac{2 - (-1)}{1 + 2 \cdot (-1)} = -3$

点  $R\left(\frac{9-t}{10}, \frac{9-t}{5}\right)$  を通り、直線  $BC$  と平行な直線は

$$y - \frac{9-t}{5} = -3\left(x - \frac{9-t}{10}\right) \quad \text{ゆえに} \quad y = -3x + \frac{9-t}{2}$$

この直線と直線  $OA$  の交点  $P'$  は  $\left(\frac{9-t}{6}, 0\right)$

- (4) (3) の結果より、 $P'$  の  $x$  座標が  $f(t)$  であるから  $f(t) = \frac{9-t}{6}$

$$t_{n+1} = f(t_n) \quad \text{より} \quad t_{n+1} = \frac{9-t_n}{6} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

$$\text{したがって} \quad t_{n+1} - \frac{9}{7} = -\frac{1}{6}\left(t_n - \frac{9}{7}\right)$$

数列  $\left\{t_n - \frac{9}{7}\right\}$  は初項  $t_1 - \frac{9}{7} = 2 - \frac{9}{7} = \frac{5}{7}$ , 公比  $-\frac{1}{6}$  の等比数列であるから

$$t_n - \frac{9}{7} = \left(t_1 - \frac{9}{7}\right) \left(-\frac{1}{6}\right)^{n-1} \quad \text{よって} \quad t_n = \frac{9}{7} + \frac{5}{7} \left(-\frac{1}{6}\right)^{n-1}$$

■

- 3** (1)  $X$  が 5 の倍数となる事象を  $A$  とすると

$$P(\bar{A}) = \left(\frac{5}{6}\right)^n \quad \text{ゆえに} \quad P(A) = 1 - P(\bar{A}) = 1 - \left(\frac{5}{6}\right)^n$$

- (2) (1) の結果を利用して  $1 - \left(\frac{5}{6}\right)^n > 0.99$     ゆえに  $\left(\frac{6}{5}\right)^n > 100$

$$2 \text{ を底とする対数をとると } n \log_2 \frac{6}{5} > \log_2 100$$

$$\text{したがって} \quad n(1 + \log_2 3 - \log_2 5) > 2(1 + \log_2 5)$$

$$n > \frac{2(1 + \log_2 5)}{1 + \log_2 3 - \log_2 5}$$

$$\frac{2(1 + \log_2 5)}{1 + \log_2 3 - \log_2 5} = \frac{2(1 + 2.322)}{1 + 1.585 - 2.322} = \frac{6.644}{0.263} \doteq 25.2 \dots$$

よって、求める最小の整数  $n$  は    **26**

- (3)  $X$  が 3 の倍数となる事象を  $B$  とすると、求める確率は

$$P(\bar{A} \cap \bar{B}) = \left(\frac{3}{6}\right)^n = \left(\frac{1}{2}\right)^n$$

- (4) (3) の結果から  $P(\overline{A \cup B}) = P(\bar{A} \cap \bar{B}) = \left(\frac{1}{2}\right)^n$

$$\text{したがって} \quad P(A \cup B) = 1 - P(\overline{A \cup B}) = 1 - \left(\frac{1}{2}\right)^n$$

$$P(\bar{B}) = \left(\frac{4}{6}\right)^n \quad \text{ゆえに} \quad P(B) = 1 - \left(\frac{2}{3}\right)^n$$

よって  $X$  が 15 の倍数である確率は

$$\begin{aligned} P(A \cap B) &= P(A) + P(B) - P(A \cup B) \\ &= 1 - \left(\frac{5}{6}\right)^n + 1 - \left(\frac{2}{3}\right)^n - \left\{1 - \left(\frac{1}{2}\right)^n\right\} \\ &= 1 + \left(\frac{1}{2}\right)^n - \left(\frac{2}{3}\right)^n - \left(\frac{5}{6}\right)^n \end{aligned}$$



- 4 (1)  $C_1: y = 4x^3 - 1$  と  $C_2: y = x^3$  の交点の  $x$  座標が  $p$  であるから

$$4p^3 - 1 = p^3 \quad \text{ゆえに} \quad p^3 = \frac{1}{3} \quad \text{よって} \quad p = \frac{1}{\sqrt[3]{3}}$$

- (2)  $y = 4x^3 - 1$  を微分すると  $y' = 12x^2$

$C_1$  上の点  $(a, 4a^3 - 1)$  における接線  $l$  の方程式は

$$y - (4a^3 - 1) = 12a^2(x - a) \quad \text{すなわち} \quad y = 12a^2x - 8a^3 - 1$$

- (3)  $y = x^3$  を微分すると  $y' = 3x^2$

$l$  と  $C_2$  との接点の  $x$  座標を  $t$  とすると、接線の傾きと  $y$  座標により

$$\begin{cases} 3t^2 = 12a^2 & \dots \text{①} \\ t^3 = 12a^2t - 8a^3 - 1 & \dots \text{②} \end{cases}$$

① から  $t^2 = 4a^2$  ゆえに  $t = \pm 2a$

- (i)  $t = 2a$  を ② に代入すると  $(2a)^3 = 12a^2 \cdot 2a - 8a^3 - 1$

整理すると  $8a^3 = 1$  ゆえに  $a = \frac{1}{2}$ ,  $t = 1$

- (ii)  $t = -2a$  を ② に代入すると  $(-2a)^3 = 12a^2 \cdot (-2a) - 8a^3 - 1$

整理すると  $24a^3 = -1$  これは  $a > 0$  であることに反するので不適

よって  $a = \frac{1}{2}$

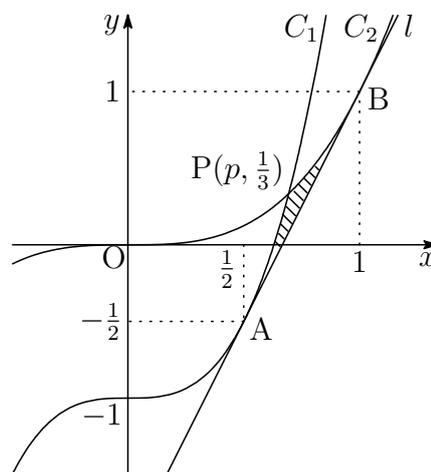
- (4) 2点 A, B の  $x$  座標は、それぞれ  $\frac{1}{2}$ , 1

(2), (3) の結果から  $l: y = 3x - 2$

求める面積を  $S$  とすると

$$\begin{aligned} S &= \int_{\frac{1}{2}}^p (4x^3 - 1) dx + \int_p^1 x^3 dx \\ &\quad - \int_{\frac{1}{2}}^1 (3x - 2) dx \\ &= \left[ x^4 - x \right]_{\frac{1}{2}}^p + \left[ \frac{1}{4}x^4 \right]_p^1 \\ &\quad - \left[ \frac{3}{2}x^2 - 2x \right]_{\frac{1}{2}}^1 \\ &= \frac{3}{4}p^4 - p + \frac{9}{16} \end{aligned}$$

$$p^4 = p^3 p = \frac{1}{3}p \text{ に注意して} \quad S = -\frac{3}{4}p + \frac{9}{16} = -\frac{3}{4}\sqrt[3]{\frac{1}{3}} + \frac{9}{16}$$



■